

# 令和4（2022）年度 生涯学習推進のための 研修案内



**栃木県総合教育センター**  
**生涯学習部**

研修内容の詳細や  
生涯学習部の情報は、  
こちらからご覧になれます。



とちぎレインボーネット



<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>



# はじめに

令和3（2021）年度からの5年間を計画期間とする、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」では、「人が育ち、地域が生きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を「めざすとちぎの将来像」として掲げています。この実現に向けた5つの重点戦略の柱となるのが、経済、暮らし、まちづくりといったあらゆる活動の原動力となる「人」の育成であり、学校や地域における様々な学びの充実は、これに欠かせない大切な要素となります。県民一人一人が、あらゆる機会にあらゆる場所で学習でき、その成果を適切に生かすことができるよう、「生涯学習・社会教育」を推進することは、正に「人」の育成につながることであり、県が目指す将来像の実現に向けた重要な視点の一つです。

近年、情報化やグローバル化、価値観の多様化等、社会を取り巻く状況は著しい変化を続けています。人口減少や少子高齢化に加え、変異株出現により未だに続く新型コロナウイルス感染症の流行により、経済や教育の格差拡大、人と人とのつながりの希薄化等が加速され、地域コミュニティには解決すべき課題が次々に顕在化しています。こうした予測困難な社会の変化に柔軟に対応し、“とちぎ”をこれまで以上に発展させるため、生涯学習・社会教育の場においては、より一層「人づくり」の機能を十分に発揮するための、質の高い学習機会を提供することが求められています。

栃木県総合教育センターでは、生涯学習・社会教育推進の視点から、県民や県・市町等の生涯学習・社会教育担当者を対象として、地域活動に関わる指導者養成と職員の専門性向上を目指し、様々な研修を開催するとともに、生涯学習推進のための諸事業を実施しています。

令和4（2022）年度の研修では、栃木県生涯学習推進計画六期計画「とちぎ学び輝きプラン」に示された「学び、つながり、活躍できる人づくり」を具現化すべく、充実した学びを通じた人づくり、協働による課題の解決を図る豊かな人間関係づくりを目指しています。ICTを積極的に活用するなど、新しい生活様式に対応し、且つ高い研修効果を生むことのできる研修方法の確立に努めながら、引き続き家庭・地域の教育力向上のための地域活動指導者養成に重点をおき、実践的な知識や技術の習得と、情報交換や研究協議による相互学習、受講者同士のネットワークづくりを進めていきます。

さらに、「生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ」を新設し、受講者が自身の取組の現状と課題、先進的实践事例等を共有しながら、障害者の学習活動の支援に必要な考え方や知識を学び、人権が尊重される共生社会実現に向けた多様な学習機会の充実に資することとしました。また、昨年度開設した「Web会議ツール活用セミナーⅠ」と「Web会議ツール活用セミナーⅡ」の内容を、主にWeb会議ツールの活用した学習機会提供の方法を学ぶことに焦点化し、1日で実施する「Web会議ツール活用セミナー」とするなど、受講ニーズを考慮した構成となるよう、工夫に努めております。

参加を希望される皆様は、本冊子（一次案内）のほか、Webサイト栃木県学習情報提供システム「とちぎレインボーネット」の研修情報、後日研修ごとに関係機関へ配布する開催要項（二次案内）を御覧いただき、各研修の内容、日程等を御確認の上、お申し込みください。多数の受講をお待ちしております。

令和4（2022）年3月

栃木県総合教育センター所長

大島 政春

# 目 次

はじめに

I	総合教育センター生涯学習関係事業	ページ 1
II	令和4(2022)年度生涯学習部研修一覧	2
III	令和4(2022)年度生涯学習部研修案内	

	研 修 名	ページ
生涯 学習 指導 者 研修	女性の地域活動推進セミナー(女性教育指導者研修)	4
	家庭教育オピニオンリーダー研修	5
	家庭教育支援プログラム指導者研修	6
	ウィークエンド青少年セミナー	7
	放課後活動指導者研修	8
	学校と地域の連携推進セミナー	9
	地域学校協働活動推進員養成研修	10
職 員 等 研 修	生涯学習・社会教育関係職員研修 I	11
	生涯学習・社会教育関係職員研修 II	12
	人権教育指導者専門研修	13
	Web 会議ツール活用セミナー	14
教 員 研 修	新任地域連携教員研修	15
	地域連携教員研修	16
教 育 視 聴 覚	16ミリ映写機技術指導者研修	17
講 座	ライフアップセミナー	17

IV	総合教育センター内生涯学習関係施設案内	
	◇学習情報センター(含とちぎレインボーネット)	19
	◇栃木県生涯学習ボランティアセンター (体験活動ボランティア活動支援センター)	20
	◇栃木県視聴覚ライブラリー	21
	◇図書資料室	22
V	バス案内	23

# I 総合教育センター生涯学習関係事業

- 生涯学習を推進する指導者の養成【研修】
- 学習機会の提供【学習機会提供】
- 生涯学習に関する相談・情報の提供【学習相談】
- 生涯学習・社会教育の振興に関する各種調査研究【調査研究】
- 生涯学習推進に関わる支援【市町・学校・団体等支援】



## 研修

県民の方々や県・市町職員等を対象に生涯学習推進のための研修を開催しています。

## 学習機会提供

「とちぎ県民カレッジ」「とちぎ子どもの未来創造大学」の事務局として、県内各地で開催されている様々な講座・セミナー等を総合的に案内しています。また、公開講座「ライフアップセミナー」やセンター開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる つくる 考える～」など、広く一般の方々に講座等を提供し、県民の学びを支援しています。

## 学習相談・情報提供

- 学習情報センター  
栃木県生涯学習情報提供システム(とちぎレインボネット)を運営し、インターネットで各種の生涯学習情報を提供しているほか、電話・メール等での学習相談、講師紹介等を行っています。
- 生涯学習ボランティアセンター(体験活動ボランティア活動支援センター)  
生涯学習ボランティアとして活動できる方や受入先を募ったり、その活動に関する相談に応じたりしています。また、栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム(とちぎかがやきネット)により、インターネットでボランティア情報を提供しています。
- 視聴覚ライブラリー  
DVD やビデオテープ、16 mmフィルム、プロジェクター、映写機等の貸出を行っています。
- 図書資料室  
教育関係、生涯学習関係図書等の収集・保管・貸出を行っています。

## 調査研究

生涯学習・社会教育の振興に関する各種調査研究を行っています。

## 市町・学校・団体等への支援

依頼に応じ、研修・情報提供・相談等を行っています。

～ 学び つながり 活躍できる人づくり を目指します ～

## Ⅱ 令和4(2022)年度 生涯学習部 研修一覽

◇ 生涯学習指導者研修 ◇ No.6は、第1回(6/1)が「放課後活動指導者研修」、第2回(6/15)が「地域学校協働活動推進員養成研修」との合同研修となります。

No.	研修名	事業のねらい	事業概要	参加対象者	日数	日程
				定員		
1	女性の地域活動推進セミナー (女性教育指導者研修) 【専続受講】	グループ研究や演習、講話などとおして、男女共同参画の視点をもって地域活動を推進するリーダーに求められる知識やスキルなどを身に付ける。	・地域で活躍するリーダーに求められること ・協働によって地域活動を推進するために ・リーダーに求められるコミュニケーションスキル ・グループ研究 等	〔推・公募〕 県民 30	8	7/19、8/23 8/24～11/15 9/15(Zoom)、 10/18、11/16、12/9 1/11
2	家庭教育オピニオンリーダー研修 【専続受講】	地域における家庭教育支援の方策を考えるとともに、家庭教育オピニオンリーダーの活動について学び、地域に根ざした家庭教育の支援に必要な知識・技能を身に付ける。	・子育て家庭の現状とその支援について ・遊びの中で学ぶ幼児について ・カウンセリングマインドと相互理解について ・フィールドワーク 等	〔推・公募〕 県民 50	6	8/17(Zoom)、8/18～ 11/8までに1回、 9/14、9/28 10/26、11/9
3	家庭教育支援プログラム指導者研修 【専続受講】	保護者の学びを支える参加型学習プログラム「家庭教育支援プログラム」を実践するために必要な知識・技術などを身に付ける。	・参加型学習と家庭教育支援プログラムとは ・ファシリテーターの役割 ・地域で家庭教育支援を進めるために ・ファシリテーター演習 等	県民 60	5	5/24、6/8、6/22 7/6、7/27
4	ウィークエンド青少年セミナー 【専続受講】	同世代の仲間との話し合いやイベントの企画をとおして、ボランティア活動に主体的に参加・参画する意識・意欲を高める。	・ボランティア活動について ・親子で楽しめる昔遊び・工作遊び ・ボランティア活動事業の企画、立案、準備、実践 等	青少年 大学生 高校生 30	5	9/24、10/15、10/29 11/5、12/17
5	放課後活動指導者研修 【各回受講】	放課後活動の意義や目的、及び子どもの安心安全の保障や、豊かな人間の育成に関する具体的な方策等、活動に携わる上で必要な知識・技能を身に付ける。	・放課後活動指導者に求められるもの ・体験活動の充実に向けて ・もしもの時も落ち着いて ～子どもを守る危機管理～ 等	社 県民 120	5	5/26(Zoom) 6/1(Zoom)、6/29 7/15、9/21
6	学校と地域の連携推進セミナー 【各回受講】	多様な子どもへの関わり方や持続可能な仕組みづくり、学校と地域の連携を推進するためのつながりづくり等について必要な知識・考え方を身に付ける。	・子どもを理解しよう ・今、なぜ地域と学校の連携・協働が求められるのか ・学校と地域の連携を進めよう 等	社 教 員 県民 100	3	6/1(Zoom) 6/15(Zoom) 8/9(Zoom)
7	地域学校協働活動推進員養成研修 【専続受講】	地域学校協働活動推進員としての資質向上を目指して、地域と学校の連携・協働の在り方について理解し、地域学校協働活動の推進に必要な知識や技術を身に付ける。	・地域学校協働活動推進員の役割 ・ファシリテーションスキルを高めよう ・コーディネート的手法を学ぼう ・地域学校協働活動の企画・立案 等	〔推・公募〕 県民 50	5	6/15、7/13、8/25、 9/16、10/12

### ◇ 県・市町職員等研修 ◇

8	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ 【各回受講】	生涯学習・社会教育行政に携わる職員としての資質・能力の向上を目指し、生涯学習推進に必要な基礎知識を学び、演習を通して技能を身に付ける。	・生涯学習推進における行政職員への期待 ・国と本県の施策・方向性について ・生涯学習や社会教育について考える ・学習プログラムの作り方 等	社 60	3	4/22、5/20(Zoom) 5/25 *上記3日以外に選択希望研修あり
9	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ 【専続受講】	障害者の生涯学習推進に向けて、国・県の動向や先進的事例をとおして障害者の学びの支援のために必要な考え方や知識を学ぶ。	・障害者の生涯学習推進 ・障害者の生涯学習支援について ・障害者の生涯学習における推進・実践事例 等	社 60	3	7/14(Zoom)、8/2、9/7
10	人権教育指導者専門研修 【専続受講】	講話や演習、現地学習をとおして様々な人権問題やその解決に向けた取組を学び、学校や地域において人権教育を積極的に推進する指導者の資質・能力を高める。	・参加体験型による人権学習 ・現地研修 ・人権教育の視点 ・学習プログラム作成 等	社 教 50(受講指定者も含む)	6	6/6、6～7月(2回のうち1回選択) 7/25、8月下旬、 9/8(Zoom)、9/22
11	Web会議ツール活用セミナー	Web会議システム「Zoom」の使用方法を学び、オンラインを活用した会議や講座の運営の仕方を確認する。	・Zoomの使用方法について ・Zoomを活用した講座運営のポイント	社 36	1	5/18

### ◇ 地域連携教員研修 ◇

12	新任地域連携教員研修	地域連携教員としての職務、学校と地域の連携・協働の理念、特に地域連携の進め方等について学び、地域連携教員に必要な知識・技術に関する理解を深める。	・地域連携教員への期待 ・地域連携教員の設置 ・地域連携教員の職務 ・地域と連携した活動を進めるために 等	教(新任地域連携教員)	1	6/2(Zoom)
13	地域連携教員研修	地域連携教員として地域の教育資源を生かすための方策やアイデアを学び、学校と地域が連携・協働した教育活動について考える。	・国の動向と本県の地域連携教員について ・地域の状況を踏まえた、地域資源の生かし方 ・研究フォーラム・研究協議 等	教(地域連携教員) 社 150	1	11/10

### ◇ 視聴覚教育指導者研修 ◇

14	16ミリ映写機技術指導者研修	市町等で開催する16ミリフィルム映写機技術者養成講習会を運営するために必要な映写機の操作方法を指導する際のポイントや講習会の運営方法などを学ぶ。	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント	社 視 20	1	*隔年開催 (今年度は実施しない)
----	----------------	--	-------------------------------------	--------------	---	----------------------

### ◇ 公開講座 ◇

ライフアップセミナー 総合教育センター研修の中から単発の講話等を広く県民一般に開放するものです。オンライン(Zoom)による受講となります。

### ◇ センター開放事業 ◇

学びの杜の冬休み【12/17】 子どもたちに豊かな体験活動を提供するため、当センターの施設を一日開放し、「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」プログラムを実施します。

※参加対象者・・・社：県・市町社会教育関係職員、 県民：県民一般、 教：教職員、 視：視聴覚ライブラリー職員、 〔推〕：要推薦(教職員の旅費は学校負担、土・日開催の研修・セミナーに参加する場合は原則個人参加となります。)

※研修日程や内容については、都合により変更になる場合があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の理由に伴い、研修内容や受講者数の上限が変更になる場合があります。

御了承願います。

### Ⅲ 令和4(2022)年度

## 生涯学習部 研修案内



地域学校協働活動推進員養成研修



家庭教育支援プログラム指導者研修



女性の地域活動推進セミナー



ウィークエンド青少年セミナー

## 女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

◇対象 ○女性学級や家庭教育学級、その他の学習グループ等における指導的立場の方など  
○地域活動や社会活動に参加する意欲をもっている方 [男女を問わず]

◇定員 30人

ねらい

様々な地域課題への対応が求められる現代社会では、男女共同参画などの多様な視点をもって、地域づくりや地域活動を推進できる人材が求められています。

本研修では、グループ研究や演習、講話などをおして、男女共同参画の視点をもって地域活動を推進するリーダーに求められる知識やスキルなどを身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボネット



Webサイト「とちぎレインボネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

### 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師		会場
1	7/19 (火)	開講式 講話「地域の現状と地域課題の解決に向けた本県の取組」 説明「グループ研究の進め方」 講話「地域で活躍するリーダーに求められること」	県生涯学習課職員 総合教育センター職員 聖心女子大学人間関係学科 教授 大槻 奈巳 氏	総合教育センター
2	8/23 (火)	講話「男女共同参画ってなに？」 とちぎ男女共同参画センター施設見学 グループ研究①「研究計画の立案」	とちぎ男女共同参画センター職員 とちぎ男女共同参画センター職員 総合教育センター職員	総合教育センター 共同参画
3	8/24 (水) ～11/15 (火)	グループ研究②「フィールドワーク」		機 関 係
4	<b>Zoom</b> 9/15 (木)	とちぎ男女共同参画センター公開講座		
5	10/18 (火)	講話・演習「協働によって地域活動を推進するために」 グループ研究③「調査結果の分析と考察Ⅰ」	栃木県協働アドバイザー 総合教育センター職員 総合教育センター職員	総合教育センター
6	11/16 (水)	グループ研究④「調査結果の分析と考察Ⅱ」	総合教育センター職員	
7	12/9 (金)	演習「リーダーに求められるコミュニケーションスキル」 グループ研究⑤「研究のまとめと発表会の準備」	総合教育センター職員 総合教育センター職員	
8	1/11 (水)	講話「栃木県女性教育推進連絡協議会について～女性団体活動の実際～」 事例発表・グループ協議「実践事例から学ぶ地域活動」 グループ研究⑥「グループ研究発表会」 グループ協議「研修のふりかえり」 閉講式	栃木県女性教育推進連絡協議会 栃木県女性教育推進連絡協議会 総合教育センター職員 県生涯学習課職員 総合教育センター職員 県生涯学習課職員	

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。

- ◇その他
- ・研修時間は、10：00～15：30です。
  - ・7回以上出席した方に修了証を授与します。
  - ・期日・曜日欄に**Zoom**のついている回はオンライン（Zoom）で実施します。
  - ・新型コロナウイルス対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。
  - ・本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

〈令和4（2022）年度〉

地域での家庭教育を支援するリーダーを目指して

## 家庭教育オピニオンリーダー研修

- ◇対象 ○地域で家庭教育支援に携わっている方  
○地域での家庭教育支援活動に意欲のある方  
○PTAで活躍している方
- ◇定員 50人

ねらい

家族形態の多様化や地域での人間関係の希薄化など、子育て環境や家庭を取り巻く状況は大きく変化しており、子育てに不安を感じている保護者が増えています。  
本研修では、地域における家庭教育支援の方策を考えるとともに、家庭教育オピニオンリーダーの活動について学び、地域に根ざした家庭教育の支援に必要な知識・技能を身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Webサイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

### 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師	会場
1	Zoom 8/17 (水)	開講式 説明「県の家庭教育支援施策と家庭教育オピニオンリーダーの活動について」 説明「フィールドワークについて」 講話「子育て家庭の現状とその支援について」	県生涯学習課職員  総合教育センター職員 宇都宮共和大学 准教授 星 順子 氏	
2	8/18 (木) ~ 11/8 (火)	フィールドワーク：ブロック研修に参加	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 教育事務所職員 総合教育センター職員	各地区
3	9/14 (水)	説明・演習「家庭教育支援プログラムについて」 事例発表/座談会「家庭教育オピニオンリーダーの活動について」 講話・演習「遊びの中で学ぶ幼児について」	総合教育センター職員 栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 総合教育センター職員	総合教育センター
4	9/28 (水)	講話・演習「カウンセリングマインドと相互理解について」	総合教育センター職員	
5	10/26 (水)	説明「家庭教育支援に向けた取組事例」 グループ協議「家庭教育支援に向けた取組①」 施設見学	総合教育センター職員 総合教育センター職員 センターボランティアの会	
6	11/9 (水)	グループ協議「家庭教育支援に向けた取組②」 閉講式	総合教育センター職員	

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。

- ◇その他
- ・研修時間は、10：00～15：00です。
  - ・5回以上出席した方に修了証を授与します。
  - ・期日・曜日欄にZoomのついてる回はオンライン（Zoom）で実施します。
  - ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。
  - ・本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

## 家庭教育支援プログラム指導者研修

- ◇対象 ○地域で家庭教育支援活動に携わる方、意欲のある方  
○参加型学習プログラム実践スキルを向上させたい方（再受講も含む）  
○県・市町の教育関係職員等
- ◇定員 60人

ねらい

子育てに不安や悩みを抱える保護者が増えており、地域において住民同士が支え合う関係が希薄化する中で、家庭教育について学べる機会を提供するなどの保護者への支援が必要です。本研修では、保護者の学びを支える参加型学習プログラム「家庭教育支援プログラム」を実践するために必要な知識・技術などを身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Webサイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

### 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	5/24 (火)	開講式 説明「本県の家庭教育支援について」 説明「参加型学習と家庭教育支援プログラムとは」 説明・演習「ファシリテーターの役割」	総合教育センター
2	6/8 (水)	事例発表・演習「親学習プログラムについて」 説明「コミュニケーションの技術について」 グループワーク「ファシリテーター演習①」	
3	6/22 (水)	グループワーク「ファシリテーター演習①」 説明「思春期版家庭教育支援プログラムについて」 グループワーク「ファシリテーター演習②」	
4	7/6 (水)	グループワーク「ファシリテーター演習②」 説明「地域元気プログラムについて」 グループワーク「ファシリテーター演習③」	
5	7/27 (水)	グループワーク「ファシリテーター演習③」 講話「地域で家庭教育支援を進めるために」 閉講式	
			県生涯学習課職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員 教育事務所職員
			活動実践者 総合教育センター職員 総合教育センター職員 教育事務所職員
			総合教育センター職員 教育事務所職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員 教育事務所職員
			総合教育センター職員 教育事務所職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員 教育事務所職員
			総合教育センター職員 教育事務所職員 宇都宮共和大学 准教授 石本 真紀 氏

◇申込み 4月に開催要項と申込書を配布（広報）します。

- ◇その他
- ・研修時間は、10:00～15:30です。
  - ・4回以上出席した方に修了証を授与します。但し、以前に本研修を修了している方に対しての再度の授与はありません。
  - ・本研修をすでに修了している方は、スキルアップや学び直しとしての研修受講ができます。講話のみなど半日単位での受講が可能ですが、グループワークは同一番号のものをまとめて受講ください。
  - ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。
  - ・本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

〈令和4（2022）年度〉

自分の力をボランティアに活かすために

## ウィークエンド青少年セミナー

◇対 象 ○ボランティア活動や地域貢献活動に関心がある、または実際に携わる青少年  
※高校・大学・専門学校の生徒や学生、地域のジュニアリーダーズクラブ・その他団体に所属する青少年

◇定 員 30人

ねらい

近年、福祉や環境、まちづくり等多様な分野で盛んに行われているボランティア活動は、自主的、主体的活動であるとともに、助け合うことや協力することの大切さを知る機会でもあります。本研修では、同世代の仲間との話し合いやイベントの企画をとおして、青少年自らがボランティア活動に主体的に参加・参画する意識・意欲を高めます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボースタッフ



Web サイト「とちぎレインボースタッフ」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

### 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	9/24 (土)	開講式 講話「ボランティア活動について」 講話・演習 「ボランティア活動について話し合い、気づきを得よう」	総合教育センター
2	10/15 (土)	協議 「学びの杜の冬休みに参加するために大切にしたい気持ちとは」 体験講座 「親子で楽しめる昔遊び・工作遊び」 演習「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しめる企画を考える①」	
3	10/29 (土)	演習 「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しめる企画を考える②」	
4	11/5 (土)	演習 「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しめる企画を考える③」	宇都宮大学
5	12/17 (土)	演習 「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しもう」 ※学びの杜の冬休み（開放事業）時に実施 ふりかえり「学びの杜の冬休みに参加して」 閉講式	総合教育センター

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。

- ◇その他
- ・研修時間は、10:00～15:00です。
  - ・4回以上出席した方に修了証を授与します。
  - ・本研修は宇都宮大学との共催事業です。
  - ・第5回は、総合教育センター開放事業「学びの杜の冬休み」にあわせて実施します。
  - ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。
  - ・本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

〈令和4（2022）年度〉

## 放課後活動指導者としての資質を養う

# 放課後活動指導者研修

◇対 象 ○放課後子ども教室・放課後児童クラブの活動に携わる方で、主に活動経験が2年未満の方

◇定 員 120人

ねらい

核家族化や少子化の進展、共働き家庭や留守家庭の増加などに伴い、地域社会の中で、放課後の子どもたちを安全で心豊かに育む環境を充実させる必要性が高まっています。

本研修では、放課後活動の意義や目的、及び子どもの安心安全の保障や、豊かな人間性の育成に関する具体的な方策等、活動に携わる上で必要な知識・技能を身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Web サイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	<b>Zoom</b> 5/26 (木)	説明「子どもの放課後を支えるために」 講話「放課後活動指導者に求められるもの」	県生涯学習課職員 東京学芸大学 理事・副学長 松田 恵示 氏
2	<b>Zoom</b> 6/1 (水)	講話「子どもを理解しよう ～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」 ※学校と地域の連携推進セミナーと合同開催	宇都宮共和大学 教授 土沢 薫 氏
3	6/29 (水)	講話・演習 「体験活動の充実に向けて ～子どもの活動プログラムを体験しよう～」	子ども総合科学館職員 総合教育センター職員
4	7/15 (金)	講話・演習 「もしもの時も落ち着いて ～子どもを守る危機管理～」(防犯編)	栃木県警察本部人身安全 少年課職員
5	9/21 (水)	事例発表・講話・グループ協議 「よりよい放課後活動を目指して」	活動実践者 作新学院大学女子短期大学部 教授 青木 章彦 氏

総合教育センター

◇申込み 4月に開催要項と申込書を配布（広報）します。

◇その他

- ・研修時間は、9：30～12：00です。
- ・本研修は、放課後児童支援員都道府県認定資格研修ではありません。
- ・期日・曜日欄に**Zoom**のついている回はオンライン（Zoom）で実施します。
- ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。
- ・本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

## 学校と地域の連携推進セミナー

- ◇対象 ○学校と地域の連携した活動や地域で子どもを育む活動に携わっている方  
○県・市町の社会教育関係職員、教職員
- ◇定員 100人

ねらい

複雑化、多様化が進む社会の中で、子どもたちにこれからの時代を生き抜く力を育むためには、学校と地域が連携して、子どもたちの成長を支える基盤をつくる必要があります。

本研修では、多様な子どもへの関わり方や持続可能な仕組みづくり、学校と地域の連携を推進するためのつながりづくり等について必要な知識・考え方を身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボネット

Webサイト「とちぎレインボネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL:https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/)



### 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師
1	6/1 (水)	講話「子どもを理解しよう ～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」	宇都宮共和大学 教授 土沢 薫 氏
2	6/15 (水)	講話 「今、なぜ地域と学校の連携・協働が求められるのか」 ※「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを兼ねています。	国立教育政策研究所 総括研究官 志々田 まなみ 氏
3	8/9 (火)	パネルディスカッション「学校と地域の連携を進めよう」 研究協議「連携を進め、活動を充実させよう」	大学等職員 県立学校教員 市町教育委員会職員 地域コーディネーター 総合教育センター職員

- ◇申込み ・各回の研修日1～2か月前に開催要項を配布（広報）します。開催要項を御覧の上、各回ごとにお申し込みください。  
・教職員の旅費は学校負担となりますので御承知おきください。

- ◇その他 ・研修時間は、第1回が9：30～12：00、第2・3回が13：00～15：30です。  
・第1回は「放課後活動指導者研修」、第2回は「地域学校協働活動推進員養成研修」との合同開催です。  
・本研修は、オンライン（Zoom）で実施します。  
・教職員の方は、中堅教諭等資質向上研修(小・中)(高・特)・中堅養護教諭資質向上研修の選択研修としての参加が可能です。  
・本研修は「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

〈令和4（2022）年度〉

地域学校協働活動を支えるコーディネーターを目指して

## 地域学校協働活動推進員養成研修

- ◇対象 ○地域学校協働活動推進員及びその委嘱予定者  
○がんばる学校・地域！応援プロジェクト事業モデル校コーディネーター  
○地域コーディネーター等の経験者
- ◇定員 50人

ねらい

地域と学校双方にとって望ましい協働関係を築くには、地域資源や住民等をよく理解するとともに、学校との円滑なコミュニケーションを図る地域人材の存在が重要です。  
本研修では、地域学校協働活動推進員としての資質向上を目指して、地域と学校の連携・協働の在り方について理解し、地域学校協働活動の推進に必要な知識や技術を身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボネット



Web サイト「とちぎレインボネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	6/15 (水)	開講式 説明 「地域学校協働活動推進員の役割」 情報交換・協議 「地域と学校をつなぐために」 講話 「今、なぜ地域と学校の連携・協働が求められるのか」 ※「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを兼ねています。	生涯学習課職員 総合教育センター職員 国立教育政策研究所 総括研究官 志々田 まなみ 氏
2	7/13 (水)	講話・演習 「協働活動の質を高めるための話合い ～ファシリテーションスキルを高めよう～」	宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 石井 大朗 氏
3	8/25 (木)	講話・演習 「協働活動を支えるためのつながりづくり～コーディネートの手法を学ぼう～」	NPO 法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏
4	9/16 (金)	講話 「地域全体で子どもの成長を支えるために～子どもを取り巻く現状と課題～」 講話・演習 「地域づくりにつながる活動について考えよう」	栃木市地域政策課 社会教育指導員 鈴木 廣志 氏 とちぎ市民協働研究会 事務局長 土崎 雄祐 氏
5	10/12 (水)	演習 「地域学校協働活動の企画・立案」 講話 「これからの地域学校協働活動の在り方」 閉講式	総合教育センター職員 作新学院大学女子短期大学部 教授 青木 章彦 氏

総合教育センター

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。

- ◇その他
- ・研修時間は、10：00～15：30です。
  - ・4回以上出席した方に修了証を授与します。
  - ・第1回午後の研修は、「学校と地域の連携推進セミナー」との合同開催です。
  - ・新型コロナウイルス対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。
  - ・本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

〈令和4（2022）年度〉

生涯学習・社会教育に携わる職員のスキルアップを目指して

## 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ

- ◇対象 ○生涯学習・社会教育所管課職員（2年未満の方）  
○公民館・市民センター・図書館・博物館職員（2年未満の方）  
○生涯学習・社会教育関連施設職員（2年未満の方）
- ◇定員 60人

ねらい

生涯学習社会形成のためには、一人一人が生涯を通じて主体的に学ぶことができ、その成果を生かせる社会を目指す必要があります。

本研修では、生涯学習・社会教育行政に携わる職員としての資質・能力の向上を目指し、生涯学習推進に必要な基礎知識を学び、演習を通して技能を身に付けます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Webサイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	4/22（金）	講話「生涯学習推進における行政職員への期待」 説明「国と本県の施策・方向性について」 協議・情報交換「業務における期待と不安」	県生涯学習課長 県生涯学習課職員 総合教育センター職員
2	<b>Zoom</b> 5/20（金）	講話「生涯学習や社会教育について考える」 事例発表「生涯学習の推進に携わって」	宇都宮大学 教授 佐々木 英和 氏 市町教委生涯学習課職員
3	5/25（水）	演習「学習プログラムの作り方～魅力あるプログラムを企画してみよう～」	県生涯学習課職員 総合教育センター職員

### 選択研修（希望研修）

	期日・曜日	内 容 ・ 講 師
A	<b>Zoom</b> 6/15（水）	地域学校協働活動推進員養成研修（地域と学校の連携） 講話「今、なぜ地域と学校の連携・協働が求められるのか」
B	<b>Zoom</b> 7/19（火）	女性の地域活動推進セミナー（女性教育） 講話「地域で活躍するリーダーに求められること」
C	<b>Zoom</b> 7/27（水）	家庭教育支援プログラム指導者研修（家庭教育） 講話「地域で家庭教育支援を進めていくために」
D	<b>Zoom</b> 8/17（水）	家庭教育オピニオンリーダー研修（家庭教育） 講話「子育て家庭の現状とその支援について」

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。

- ◇その他
- ・研修時間は、第1・2回が13:30～16:00、第3回が10:00～16:00です。
  - ・選択研修については、勤務年数を問いません。
  - ・期日・曜日欄に**Zoom**のついている回はオンライン（Zoom）で実施します。なお、選択研修（希望研修）はすべてオンライン（Zoom）です。
  - ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。

## 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ

- ◇対象 ○生涯学習・社会教育所管課職員  
 ○公民館・市民センター・図書館・博物館職員  
 ○生涯学習・社会教育関連施設職員
- ◇定員 60人

ねらい

生涯学習社会形成のためには、誰もが学び、その成果を生かすことができるように、障害の有無に関わらず、学習機会が適切に提供されることが求められます。

本研修では、障害者の生涯学習推進に向けて、国・県の動向や先進的事例をとおして障害者の学びの支援のために必要な考え方や知識を学びます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Web サイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

### 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師		会場
1	<b>Zoom</b> 7/14 (木)	説明「国の計画や本県の推進の方向性について」 講話「障害者の生涯学習推進 ～共生社会の実現に向けて～」	県生涯学習課職員 神戸大学大学院 教授 津田 英二 氏	総合 教育 セ ン タ ー
2	8/2 (火)	講話「障害者の生涯学習支援について」 情報交換「現状と課題」 演習「学習活動の企画・実施に向けて」	明星大学 客員教授 平井 威 氏 総合教育センター職員 総合教育センター職員	
3	9/7 (水)	事例発表「町田市障がい者青年学級の取組」 事例発表「NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会 の取組」 協議「障害者の生涯学習の推進を目指して」	東京都町田市教育委員会生 涯学習センター 係長 岩田 武 氏 NPO 法人障がい児・者の学 びを保障する会 代表理事 大森 梓 氏 総合教育センター職員	

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。

◇その他 ・研修時間は、第1・3回が13：30～16：00、第2回が13：00～16：00です。  
 ・期日・曜日欄に**Zoom**のついている回はオンライン（Zoom）で実施します。  
 ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。

〈令和4（2022）年度〉

## 人権尊重の精神を育む指導者を目指して

# 人権教育指導者専門研修

◇対象 ○県・市町の人権教育・社会教育担当職員

○教職員等

◇定員 50人（受講指定者を含む）

ねらい

様々な人権問題の解決のために、すべての学校、すべての地域において人権尊重の精神の涵養を目的とした人権教育の推進が求められています。

本研修では、講話や演習、現地学習をとおして様々な人権問題やその解決に向けた取組を学び、学校や地域において人権教育を積極的に推進する指導者の資質・能力を高めます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Webサイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場	
1	6/6（月）	開講式 講話「本県の人権教育推進について」 協議「本校や地域の人権教育の現状と課題」 説明・演習「参加体験型による人権学習①」 説明「現地学習について」	県総務課人権教育室長 総合教育センター職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員	センター 総合教育
2	A：6月下旬 B：7月上旬	現地学習「同和問題について考える」 講話、現地見学、体験発表、グループ協議等 ※A・Bいずれかの研修日を選択	団体職員 県総務課人権教育室職員 教育事務所職員 総合教育センター職員	市関係
3	7/25（月）	説明・演習「参加体験型による人権学習②」 説明・演習「さまざまな人権問題について学ぼう」 講話「子どもの人権」 講話「障害のある児童・生徒の理解とその対応」	教育事務所職員 総合教育センター職員 児童相談所職員 児童相談所職員	センター 総合教育
4	8月下旬	現地研修「人権意識を高めよう」 ※「人権・福祉教育推進セミナー」（栃木県社会福祉協議会との合同開催）	大学等職員 専門機関職員 総合教育センター職員	施設関係
5	 9/8（木）	説明・協議・演習「人権学習を企画しよう①」 説明、人権学習指導案、研修プログラム案作成	県総務課人権教育室職員 県生涯学習課職員 総合教育センター職員	
6	9/22（木）	講話・演習「人権教育の視点」 演習「人権学習を企画しよう②」 指導案・プログラム発表会、講評 閉講式	大学等職員 県総務課人権教育室職員 教育事務所職員 総合教育センター職員	センター 総合教育

- ◇申込み ・研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。（受講指定者の申込みは不要です。）  
・受講指定者以外の教職員の旅費は学校負担となりますので、御承知おきください。

- ◇その他 ・研修時間は、9：30～16：00です。  
・5回以上出席した方に修了証を授与します。（受講指定者を除く）  
・期日・曜日欄に のついている回はオンライン（Zoom）で実施します。  
・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。  
Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。

〈令和4（2022）年度〉

Web 会議ツールを用いた会議・講座への参加や運営のために

## Web 会議ツール活用セミナー

- ◇対 象 ○ 生涯学習・社会教育所管課職員  
○ 公民館・市民センター・図書館・博物館職員  
○ 生涯学習・社会教育関連施設職員  
○ 中間支援センター、社会福祉協議会等職員
- ◇定 員 36人（午前18人・午後18人）

ねらい

Web 会議システム「Zoom」の使用方法を学び、オンラインを活用した会議や講座の運営の仕方を確認します。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット

Web サイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL:<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)



## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	5/18（水）	午前の部 10:00～12:00（参加のしかたを学びます） 説明・演習「Zoom の使用方法について」 午後の部 13:30～16:00（講座等の運営の仕方を学びます） 実習「Zoom を活用した講座運営のポイント」	総合教育センター 職員 総合教育センター

◇申込み 研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。

◇その他 ・午前の部（10:00～12:00）のみ、午後の部（13:30～16:00）のみの受講も可能です。

〈令和4（2022）年度〉

## 地域連携教員として活躍するために

# 新任地域連携教員研修

◇対 象 ○令和4年度の新任地域連携教員（小・中・高・特別支援学校）  
 ※昨年度中に新任地域連携教員になった者で、この研修を受講していない者を含みます。

ねらい

学校と地域が連携した教育活動を効果的・効率的に展開し、児童生徒の学習意欲や学力を育むとともに、社会性の向上を図るためには、地域連携教員の役割が重要となります。  
 本研修では、地域連携教員としての職務、学校と地域の連携・協働の考え方、特に地域連携の進め方等について学び、地域連携教員に必要な知識・技術に関する理解を深めます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Web サイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL: <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	Zoom 6/2（木）	講話「地域連携教員への期待」 説明「地域連携教員の設置」 説明・情報交換「地域連携教員の職務」 演習「地域と連携した活動を進めるために」	県生涯学習課長 県生涯学習課職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員 各所属校

申込み

### 【小・中学校、義務教育学校】

- 校長が、該当する教員を4月当初に市町教育委員会教育長に報告します。
- 総合教育センター所長が受講者を指定し、市町教育委員会教育長から、4月下旬に校長に通知します。

### 【高等学校・特別支援学校】

- 総合教育センター所長が、各研修開催要項に示してある対象と定員及び「専門研修1対象者及び学校割当」によって、4月1日付けで学校宛に受講者を割当てます。
- 校長は、学校に割当てられた研修の受講者を、「受講者報告名簿」によって、4月15日までに総合教育センター所長に報告します。
- 総合教育センター所長は、その報告に基づいて受講者を指定し、4月21日付けで校長に通知します。

### ◇その他

- ・研修時間は、9：30～16：00です。
- ・本研修は、オンライン（Zoom）で実施します。
- ・「地域連携教員のための手引き書（平成29年4月 栃木県教育委員会）」を準備してください。
- ・「地域連携推進計画」「生涯学習全体計画」「年間活動計画」等、各校で作成した計画を準備してください。

〈令和4（2022）年度〉

地域連携教員として資質向上するために

## 地域連携教員研修

◇対 象 ○小・中学校、義務教育学校及び県立学校の地域連携教員、市町行政職員

◇定 員 150人

ねらい

未来を担う子どもたちの豊かな成長のために、学校と地域が連携・協働した教育活動の充実が求められています。

本研修では、地域連携教員として地域の教育資源を生かすための方策やアイデアを学び、学校と地域が連携・協働した教育活動について考えます。

※研修は、中止や内容を変更する場合があります。

とちぎレインボーネット



Web サイト「とちぎレインボーネット」に情報を掲載します。

毎回、来所前に御確認ください。(URL:https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/)

## 研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会 場	
1	11/10（木）	説明 「国の動向と本県の地域連携教員について」  講話 「地域の状況を踏まえた、地域資源の生かし方 ～学校と地域の連携・協働のさらなる深化に向けて～」  研究フォーラム 「本県の地域連携の実際～小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の取組～」  研究協議 「地域連携教員としての自分の役割」	県生涯学習課  国立教育政策研究所 総括研究官 志々田 まなみ 氏  小・中・県立学校教員 総合教育センター職員  総合教育センター職員	総合教育センター

- ◇申込み ・研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）します。  
 ・教職員の旅費は学校負担となりますので御承知おきください。

- ◇その他 ・研修時間は、9：30～16：00です。  
 ・新型コロナ対策等により、実施方法が変更になる際はオンライン（Zoom）で実施します。  
 Zoomでの受講が不安な方には、使用方法を事前に説明します。

〈令和4（2022）年度〉

16ミリ映写機技術者養成講習会の企画・指導のために

## 16ミリ映写機技術指導者研修

- ◇対象 ○16ミリ映写機技術者養成講習会の指導者(予定者)  
○16ミリ映写機技術指導者証明書取得者
- ◇定員 20人

ねらい

16ミリフィルムの映画や映像の良さを伝え、普及させるためには、上映会を開催する学校や団体等に映写技術を習得した技術者の存在が不可欠です。

本研修では、市町等で開催する16ミリフィルム映写機技術者養成講習会の運営や映写機の方法を指導するポイントなどを学び、講習会をスムーズに運営できるようにします。

**※今年度は開催しません。（次回開催予定：令和5（2023）年度）**

- ◇その他 ・本研修は、16ミリ映写機技術修得証明書取得者を対象としています。  
・本研修は、隔年で開催しますので、指導予定のある方は計画的に受講されるようお願いいたします。

〈令和4（2022）年度〉

より自分を高めるために

## ライフアップセミナー

- ◇対象 関心のある方ならどなたでも
- ◇定員 なし

ねらい

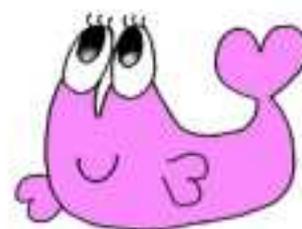
栃木県総合教育センターが主催する各種研修の中から、より多くの人に聞いていただきたい内容のものを一般に開放し、県民の皆様へ幅広い学びの機会を提供します。

- ◇申込み 4月に開催要項を配布（広報）します。
- ◇その他 ・オンライン（Zoom）による受講となります。  
・本講座は「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

## IV 栃木県総合教育センター内 生涯学習関係施設 案内



図書資料室



### ☆ 昼食について ☆

当センターでは食堂施設やお弁当の販売はありません。近隣に飲食店なども少ないため、御注意願います。

# ◇学習情報センター

- ①開館 10:00～17:00  
※休館日：第1・3日曜日  
国民の祝日、年末年始（12/28～1/4）  
及び4/9、5/14、6/25・26、7/30・31、8/6・13・14、  
10/30、11/27、12/25、R5.1/29、2/12・25、3/12
- ②対象 どなたでも利用できます。
- ③内容 学習相談、情報提供、学習活動支援 等
- ④利用方法 来館、電話、FAX、インターネット、メールで利用できます。
- ⑤問い合わせ 電話 028-665-7207 FAX 028-665-7219  
※専任の職員が相談に応じます。



とちぎ子どもの未来創造大学  
皆さまの学びを応援します とちぎ県民カレッジ

【情報検索】  
○県内の生涯学習に関する各種情報が検索できます。

【メニュー】  
○生涯学習部に関する各種事業案内を掲載しています。

# ◇栃木県生涯学習ボランティアセンター

(体験活動ボランティア活動支援センター)



- ① 開館 10:00～17:00  
 ※休館日：第1・3日曜日  
 国民の祝日、年末年始〈12/28～1/4〉  
 及び4/9、5/14、6/25・26、7/30・31、8/6・13・14、  
 10/30、11/27、12/25、R5.1/29、2/12・25、3/12
- ② 対象 どなたでも利用できます。
- ③ 内容
  - ・ボランティアをしたい方の相談、登録
  - ・ボランティアを受け入れたい施設や団体等の相談、登録
  - ・ボランティアの紹介、情報提供
  - ・広報紙年2回発行（9月「みのり」・3月「めぶき」）
  - ・一日出張相談（令和4年は6月11日の県民の日イベントにて開催）
- ④ 利用方法 来館、電話、FAX、メール
- ⑤ ボランティアの活動分野  
 美術、工芸、書道、舞踊、演芸、音楽、語学、文学、文芸、生活、趣味、福祉、  
 生涯学習、産業、政治、経済、自然科学、スポーツ、家庭教育支援、祭り、文化財 等



【一日出張相談】



【広報紙「みのり」・「めぶき」】



【ボランティア関係図書】

- ⑥ 「とちぎかがやきネット」 (<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki/>)



栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム「とちぎかがやきネット」では、生涯学習ボランティアに関わる様々な情報を提供しています。

**【情報検索】**

ボランティアに関する活動・講座情報やボランティア人材情報等の検索ができます。

**【とちぎのボランティアセンターリスト】**

栃木県内のボランティアセンターの情報を掲載しています。

その他、「青少年の体験活動・ボランティア活動情報」や「社会教育施設におけるボランティア受入れに関する情報」も掲載しています。



とちぎかがやきネット QR コード

- ⑦ 問い合わせ TEL:028-665-7207 FAX:028-665-7219 ※専任の職員が相談に応じます。

## ◇栃木県視聴覚ライブラリー

①開 館 10:00～17:00

※休館日：第1・3日曜日

国民の祝日、年末年始（12/28～1/4）

及び4/9、5/14、6/25・26、7/30・31、8/6・13・14

10/30、11/27、12/25、R5.1/29、2/12・25、3/12

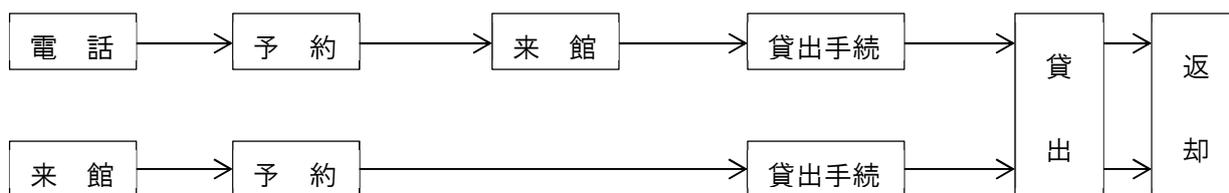
②対 象 どなたでも利用できます。※教材の一部は、団体貸出となります。

③種 類 【教 材】DVD、ビデオテープ、16 mm映画フィルム

【教 具】プロジェクター、16 mm映写機、ビデオデッキ、スクリーン

④貸出期間 8日間（原則3点まで）

⑤貸出方法



※借用の予約・申請は、使用日の2か月前から受け付けます。

※郵送による貸出も可能です。ただし貸出・返却にかかる費用は利用者負担となります。

※16 mm映画フィルムの貸出には、16 mm映写機技術習得証明書番号が必要です。

⑥お問合わせ 【電 話】028-665-7207

【FAX】028-665-7219

※専任の職員が相談に応じます。

※視聴覚ライブラリーの所蔵作品は、「とちぎレインボーネット」Webサイトで検索できます。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>



### 【 栃木県自作視聴覚教材コンクール 終了のお知らせ 】

30年以上続いて参りました当コンクールですが、今年度の開催をもって終了することになりました。御参加いただいた皆様、関係者の皆様には、これまでたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

最後のコンクールにもふるって御参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

## ◇図書資料室

- ① 開 館 平日 9:00～17:00 土・日曜日 10:00～17:00  
※休館日：第 1・3 日曜日  
国民の祝日、年末年始（12/28～1/4）  
及び 4/9、5/14、6/25・26、7/30・31、8/6・13・14、  
10/30、11/27、12/25、R5.1/29、2/12・25、3/12
- ② 対 象 どなたでも利用できます。
- ③ 内 容 ・資料の貸出  
・資料の複写・複製サービス  
・資料に関する相談受付
- ④ 資 料 ・図書資料
- |       |       |         |            |           |
|-------|-------|---------|------------|-----------|
| 教育一般  | 教育学   | 教育思想    | 教育史・事情     | 教育政策      |
| 教育制度  | 教育行財政 | 学校経営・管理 | 学校保健       |           |
| 教育課程  | 学習指導  | 教科別教育   | 幼児・初等・中等教育 |           |
| 大学・高等 | 専門教育  | 学術行政    | 特別支援教育     | 生涯学習・社会教育 |
- ・教育資料
- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 教育一般           | 教育原理・教育思想     | 各国の教育・教育史 |
| 教育行財政          | 学校経営・管理       | 教育内容・教育方法 |
| 教科・領域          | 幼児・初等・中等・高等教育 | 特別支援教育    |
| 教育調査・教育研究・教育統計 | 教育と社会         | 社会教育・生涯学習 |
| 栃木県の資料         |               |           |
- ・教育雑誌
- |           |         |            |          |
|-----------|---------|------------|----------|
| 初等教育資料    | 中等教育資料  | 高校教育       | 総合教育技術   |
| 授業力&学級経営力 | 生徒指導    | 指導と評価      |          |
| 道徳教育      | 国語教育    | 社会科教育      | 数学教育     |
| 新しい算数研究   | 算数授業研究  | 理科の教育      | 理科教室     |
| 英語教育      | 教育音楽小学版 | 教育音楽中学・高校版 | 教育美術     |
| 家庭科研究     | 産業と教育   | 体育科教育      | 特別支援教育研究 |
| 特別支援教育    | 教育と医学   | 学校教育相談     | 幼児教育じほう  |
| 発達        | 保育ナビ    | 社会教育       | 月刊公民館    |
| 学校事務      | 等       |            |          |
- ⑤ 貸出期間 2週間(10冊まで)
- ⑥ 貸出方法  ⇒(貸出カード発行申請)⇒  ⇒
- ⑦ 問い合わせ 電 話：028-665-7206（生涯学習部内）  
FAX：028-665-7219  
※専任の職員が相談に応じます。

- ◆教育関係の図書をはじめ、県内外の教育関係資料や専門誌を備えています。
- ◆生涯学習・教科書・新聞などのコーナーがあります。
- ◆資料検索は「とちぎレインボーネット」、「総合教育センターWeb サイト」からも可能です。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/finder/servlet/Index>

## V バス案内 (R4.2.21 現在)

- ◇総合教育センターの最寄り停留所は【野沢寺前】になります。
- ◇停留所の場所は栃木県総合教育センター案内図を御覧ください。
- ◇停留所から総合教育センターまでは、徒歩で約 15 分かかります。

### 【行き】 JR 宇都宮駅西口 ⇒ 野沢寺前 [約 25 分]

時間	平日	土曜	日祝
7	00* 20* 35* 50*	00* 35*	35*
8	00* 15* 30* 45*	00* 15* 30* 45*	00* 30* 55*
9	05* 25* 45*	05* 25* 45*	25* 55*
10	05* 25* 45*	15* 45*	20* 45*
11	05* 25* 45*	05* 25* 45*	05* 25* 45*
12	05* 25* 45*	05* 25* 45*	05* 25* 45*
13	05* 25* 45*	05* 25* 45*	15* 45*
14	05* 25* 45*	05* 25* 45*	05* 25* 45*
15	05* 25*	05* 25* 45*	05* 25* 45*

\*はスロープ付きバス

○JR 宇都宮駅西口の乗り場は【⑧番】です。

○系統は、【今市・日光東照宮、山王団地、船生、石那田】方面を御利用ください。

※【東武宇都宮駅前】停留所を御利用の方は、JR 宇都宮駅西口発の約 5 分後に到着となります。

### 【帰り】 野沢寺前 ⇒ JR 宇都宮駅西口 [約 35 分]

時間	平日	土曜	日祝
10	12* 33* 52*	15* 32* 53*	00* 27* 53*
11	15* 32* 55*	20* 37* 50*	20* 37* 50*
12	12* 32* 55*	12* 35* 53*	12* 32* 53*
13	15* 32* 53*	15* 32* 53*	15* 32*
14	12* 35* 55*	12* 35* 53*	03* 25* 52*
15	12* 35* 53*	15* 35* 53*	15* 35* 53*
16	12* 22* 58*	12* 32* 53*	12* 32* 53*
17	14* 27* 42*	17* 45*	17* 45*

\*はスロープ付きバス



<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kenkare>



<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki>



<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kodomo-daigaku>

- 問い合わせ先 -

栃木県総合教育センター 生涯学習部

〒320-0002

栃木県宇都宮市瓦谷町 1070

TEL : 028-665-7206 FAX : 028-665-7219

E-mail : [skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp](mailto:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp)